

応用物理学会連携

第65回 応用物理学会春季学術講演会 特別シンポジウム

快適な未来社会を拓く

～ 高分子科学と応用物理学の協奏 ～

ヒトが究極的に求めるコトを突き詰めると「快適な暮らし」になるのではなかろうか？ 快適の定義はヒトによって様々異なるだろうが、物質とエネルギーが充足し、健康的に生きられることは共通するだろう。しかし、今のヒトに加えて未来のヒトの「快適な暮らし」も考える時、ヒトは今あるエネルギーを使い尽くすことはできないし、環境も守って行かなくてはいけない。また、健康のために高価な医療を使い放題にすれば後世に大きな負担をかけることになる。

日本は資源が乏しく、少子高齢化先進国であるので、これらの課題を世に先駆けて理解しており、快適で持続可能な未来社会を拓くパイオニアになりうる。そこで、**エネルギーと健康**に注目しながら、如何に未来につながる快適な社会を構築するか議論をしたい。



田中 栄司 顧問
(地球快適化
インスティテュート)



早瀬 修二 教授
(九州工業大学)



鈴木 登美子 主任研
(豊田中央研究所)



一木 隆範 教授
(東京大学)



伊藤 耕三 教授
(東京大学)

3月19日(月) 入場無料

13:00～17:30

早稲田大学 西早稲田キャンパス

プログラム

13:00 主旨説明 西川 恒一 (豊田中央研究所)

13:05 基調講演

「快適で持続可能な未来社会を目指して」
田中 栄司 (地球快適化インスティテュート)

13:50 「プリンタブル新太陽電池と未来社会」
早瀬 修二 (九州工業大学)

14:25 「人工光合成：金属錯体触媒と半導体の複合系」
鈴木 登美子 (豊田中央研究所)

15:00 (休憩)

15:10 「デバイスが先導する健康長寿社会」
一木 隆範 (東京大学)

15:45 「しなやかなタフポリマーを用いた材料革新：
健康とエネルギーへの貢献」
伊藤 耕三 (東京大学)

16:20 (レミアム変更)

16:25 パネル討論 (講演者5名および下記3名)

- ・北野 誠 (産業競争力懇談会)
- ・西山 彰 (応用物理学会副会長)
- ・臼杵 有光 (高分子学会副会長)

主催：公益社団法人 応用物理学会、公益社団法人 高分子学会、後援：一般社団法人産業競争力懇談会 (COCN)
企画：応用物理学会 インダストリアルチャプター